

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【公表番号】特表2006-518347(P2006-518347A)

【公表日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2006-501692(P2006-501692)

【国際特許分類】

C 07 H 17/08 (2006.01)

A 01 N 43/90 (2006.01)

A 01 P 7/00 (2006.01)

【F I】

C 07 H 17/08 C S P L

A 01 N 43/90 101

A 01 P 7/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年1月4日(2011.1.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

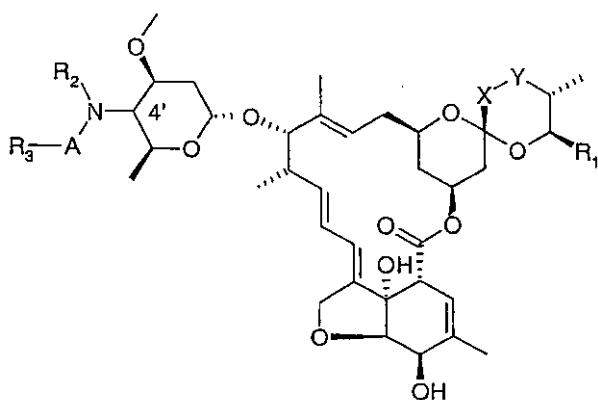
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(I)の化合物：

【化1】



(ただし、Aは、(i)-S-C(=Z)-、-NR<sub>4</sub>-C(=Z)-、-O-SO<sub>2</sub>-または-NR<sub>4</sub>-SO<sub>2</sub>-であるか、あるいは(ii)-C(=Z)-、-O-C(=Z)-または-SO<sub>2</sub>-であり；これらの中の-S-C(=Z)-、-NR<sub>4</sub>-C(=Z)-、-O-SO<sub>2</sub>-、-NR<sub>4</sub>-SO<sub>2</sub>-または-O-C(=Z)-は、右末端側の結合を通じて4'位の窒素に結合してあり；

(i) Aが-S-C(=Z)-、-NR<sub>4</sub>-C(=Z)-、-O-SO<sub>2</sub>-または-NR<sub>4</sub>-SO<sub>2</sub>-であるとき、

R<sub>2</sub>とR<sub>3</sub>は、

(a) 互いに独立に、H、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシアミノの中から選択され；そのときC<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシアミノは、置換されていないくてもよいし、置換の可能性に応じて置換基で1～5置換されていてもよく、その場合の置換基の選択は、OH；=O；ハロゲン；C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキル；-N<sub>3</sub>；CN；SCN；NO<sub>2</sub>；置換されていない／メチル基、=O、OH、=S、SHのうちの任意の1～3個で置換されているC<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル；ノルボルニレニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ（ヒドロキシ、-N<sub>3</sub>、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）の中から選択した置換基で置換されていてもよい）；ハロ-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルコキシ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル-スルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルスルホニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルホニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルホニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルホニル；C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル；C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル；-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）；-C(=O)R<sub>5</sub>；-O-C(=O)R<sub>6</sub>；-NHC(=O)R<sub>5</sub>；-N(CH<sub>3</sub>)C(=O)R<sub>5</sub>；-S-C(=S)R<sub>6</sub>；-P(=O)(OC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル)<sub>2</sub>；-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>；-NH-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>；-OC(=O)-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>；Si(R<sub>8</sub>)<sub>3</sub>；アリール；ベンジル；ヘテロシクリル；アリールオキシ；ベンジルオキシ；ヘテロシクリルオキシ；アリールチオ；ベンジルチオ；ヘテロシクリルチオからなるグループから行ない；これらの中のアリール、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシ、アリールチオ、ベンジルチオ、ヘテロシクリルチオは、置換されていないか、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～5置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、ジメチルアミノ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル、フェノキシ、フェニル-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、メチレンジオキシ、-C(=O)R<sub>5</sub>、-O-C(=O)R<sub>6</sub>、-NH-C(=O)R<sub>6</sub>、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルスルフィニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ハロアルキルスルフィニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルフィニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルスルホニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルホニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ハロアルキルスルホニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルホニルからなるグループの中から行ない；

(b) 合わさって、3～7員のアルキレン架橋またはアルケニレン架橋となり、その架橋は置換されていないか、1～3置換されており；場合によっては、3～7員のアルキレン架橋またはアルケニレン架橋のメチレン基の1つが、O、NR<sub>4</sub>、S、S(=O)、SO<sub>2</sub>のいずれかによつて置換されている；あるいは

(c) Aと合わさって=N<sup>+</sup>=N<sup>-</sup>であり；

(ii) Aが-C(=Z)-、-O-C(=Z)-または-SO<sub>2</sub>-であるとき、

R<sub>2</sub>とR<sub>3</sub>は、

(d) 互いに独立に、H、1～5置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、1～5置換されたアリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシアミノの中から選択され；そのときC<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシアミノは、置換されていないくてもよいし、置換の可能性に応じて1～5置換されていてもよく；1～5置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルおよびアリールの置換基の選択は、C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキル；-N<sub>3</sub>；CN；SCN；NO<sub>2</sub>；置換されていない／メチル基、=O、OH、=S、SHのうちの任意の1～3個で置換されているC<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル；ノルボルニレニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキル；ハロ-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルコキシ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロ

シクロアルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルホニル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルキル； $-O-C(=O)R_6$ ； $-S-C(=S)R_6$ ； $-P(=O)(OC_1 \sim C_6\text{アルキル})_2$ ； $-S(=O)_2R_9$ ； $-OC(=O)-C_1 \sim C_6\text{アルキル}-S(=O)_2R_9$ ； $Si(R_8)_3$ ；アリール；ベンジル；ヘテロシクリル；ベンジルオキシ；ヘテロシクリルオキシ；アリールチオ；ベンジルチオ；ヘテロシクリルチオからなるグループの中から行ない；これらの中のアリール、ヘテロシクリル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシ、アリールチオ、ベンジルチオ、ヘテロシクリルチオは、置換されていないか、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～5置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、 $NO_2$ 、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルキル、ジメチルアミノ- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルケニル、 $C_2 \sim C_8$ アルキニル、フェノキシ、フェニル- $C_1 \sim C_6$ アルキル、メチレンジオキシ、 $-C(=O)R_5$ 、 $-O-C(=O)R_6$ 、 $-NH-C(=O)R_6$ 、 $-N(R_8)_2$ （ただし2つの $R_8$ は互いに独立である）、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルホニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルホニル、 $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニルからなるグループの中から行ない；

$R_2$ および $R_3$ に関して定義した $C_2 \sim C_{12}$ アルケニル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルキニル、 $C_3 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_5 \sim C_{12}$ シクロアルケニル、ヘテロシクリル、2-シアノ-2- $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシアミノの置換基の選択は、OH；=O；ハロゲン； $C_1 \sim C_2$ ハロアルキル； $-N_3$ ；CN；SCN； $NO_2$ ；置換されていない／メチル基、=O、OH、=S、SHのうちの任意の1～3個で置換されている $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル；ノルボルニレニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ（ヒドロキシ、 $-N_3$ 、 $-N(R_8)_2$ （ただし2つの $R_8$ は互いに独立である）から選択した置換基で置換されていてもよい）；ハロ- $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキル-スルフィニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルホニル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニル； $-N(R_8)_2$ （ただし2つの $R_8$ は互いに独立である）； $-C(=O)R_5$ ； $-O-C(=O)R_6$ ； $-NHC(=O)R_5$ ； $-N(CH_3)C(=O)R_5$ ； $-S-C(=S)R_6$ ； $-P(=O)(OC_1 \sim C_6\text{アルキル})_2$ ； $-S(=O)_2R_9$ ； $-NH-S(=O)_2R_9$ ； $-OC(=O)-C_1 \sim C_6\text{アルキル}-S(=O)_2R_9$ ； $Si(R_8)_3$ ；アリール；ベンジル；ヘテロシクリル；アリールオキシ；ベンジルオキシ；ヘテロシクリルオキシ；アリールチオ；ベンジルチオ；ヘテロシクリルチオからなるグループの中から行ない；これらの中のアリール、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシ、アリールチオ、ベンジルチオ、ヘテロシクリルチオは、置換されていないか、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～5置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、 $NO_2$ 、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルキル、ジメチルアミノ- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルケニル、 $C_2 \sim C_8$ アルキニル、フェノキシ、フェニル- $C_1 \sim C_6$ アルキル、メチレンジオキシ、 $-C(=O)R_5$ 、 $-O-C(=O)R_6$ 、 $-NH-C(=O)R_6$ 、 $-N(R_8)_2$ （ただし2つの $R_8$ は互いに独立である）、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル、 $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニルからなるグループの中から行ない；

(e) 合わさって、3～7員のアルキレン架橋またはアルケニレン架橋となり、その架橋は置換されていないか、1～3置換されており；場合によっては、3～7員のアルキレン架橋またはアルケニレン架橋のメチレン基の1つが、O、 $NR_4$ 、S、 $S(=O)$ 、 $SO_2$ のいずれかによつて置換されており；

X-Yは、-CH=CH-または-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-であり；

Zは、OまたはSであり；

R<sub>1</sub>は、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニルのいずれかであり、それぞれ、置換されていなくてもよいし、置換されていてもよく；

R<sub>4</sub>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルキル、ヒドロキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル、フェニル、ベンジル、-C(=O)R<sub>5</sub>、-CH<sub>2</sub>-C(=O)-R<sub>5</sub>のいずれかであり、それぞれ、置換されていなくてもよいし、置換されていてもよく；

R<sub>1</sub>およびR<sub>4</sub>に関して定義したアルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、シクロアルキル、シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、アルコキシの置換基の選択は、OH；=O；ハロゲン；C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキル；-N<sub>3</sub>；CN；SCN；NO<sub>2</sub>；置換されていない／メチル基、=O、OH、=S、SHのうちの任意の1～3個で置換されているC<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル；ノルボルニレニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ（ヒドロキシ、-N<sub>3</sub>、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）の中から選択した置換基で置換されていてもよい）；ハロ-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルコキシ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル-スルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルスルホニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルホニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルホニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルホニル；C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル；C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル；-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）；-C(=O)R<sub>5</sub>；-O-C(=O)R<sub>6</sub>；-NHC(=O)R<sub>5</sub>；-N(CH<sub>3</sub>)C(=O)R<sub>5</sub>；-S-C(=S)R<sub>6</sub>；-P(=O)(O C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル)<sub>2</sub>；-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>；-NH-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>；-OC(=O)-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>；Si(R<sub>8</sub>)<sub>3</sub>；アリール；ベンジル；ヘテロシクリル；アリールオキシ；ベンジルオキシ；ヘテロシクリルオキシ；アリールチオ；ベンジルチオ；ヘテロシクリルチオからなるグループの中から行ない；これらの中のアリール、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシ、アリールチオ、ベンジルチオ、ヘテロシクリルチオは、置換されていないか、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～5置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、ジメチルアミノ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル、フェノキシ、フェニル-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、メチレンジオキシ、-C(=O)R<sub>5</sub>、-O-C(=O)R<sub>6</sub>、-NH-C(=O)R<sub>6</sub>、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルスルフィニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ハロアルキルスルフィニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルフィニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルスルホニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルホニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ハロアルキルスルホニル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルホニルからなるグループの中から行ない；

R<sub>5</sub>は、H、OH、SH、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）、C<sub>1</sub>～C<sub>24</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>ヒドロキシアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、フェノキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニルオキシ、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニルオキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>シクロアルコキシ、NH-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-C(=O)R<sub>7</sub>、-N(C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル)-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-C(=O)-R<sub>7</sub>、-O-C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキル-C(=O)R<sub>7</sub>、-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>、アリール、ベンジル、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシのいずれかであるか；あるいは環上でハロゲン、ニトロ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>ハロアルコキシによって互いに独立に1～3置換されているアリール、ベンジル、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシのいずれかであり；

R<sub>6</sub>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>24</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ヒドロキシアルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）、-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-C(=O)R<sub>8</sub>、-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>、

アリール、ベンジル、ヘテロシクリルのいずれかであるか；あるいは環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～3置換されたアリール、ベンジル、ヘテロシクリルのいずれかであり、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオからなるグループの中から行ない；

R<sub>7</sub>は、H、OH、C<sub>1</sub>～C<sub>24</sub>アルキル（場合によってはOHまたは-S(=O)<sub>2</sub>-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルで置換されている）、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニルオキシ、アリール、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）のいずれかであり；

R<sub>8</sub>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル（場合によっては1～5個の置換基で置換されており、その置換基の選択は、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ヒドロキシ、シアノからなるグループの中から行なう）、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>-シクロアルキル、アリール、ベンジル、ヘテロアリール；アリール、ベンジル、ヘテロアリール（これらは、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～3置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオからなるグループの中から行なう）のいずれかであり；

R<sub>9</sub>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル（場合によっては1～5個の置換基で置換されており、その置換基の選択は、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ヒドロキシ、シアノからなるグループの中から行なう）、アリール、ベンジル、ヘテロアリール；アリール、ベンジル、ヘテロアリール（これらは、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～3置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオからなるグループの中から行なう）のいずれかである）；

あるいは、可能な場合には、そのE/Z異性体、および／またはそのE/Z異性体混合物、および／またはその互変異性体の遊離形態または塩の形態（ただし、この化合物が4'位で(R)立体配置を取り、X-Yが-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-であり、R<sub>1</sub>がs-ブチルまたはイソプロピルであり、R<sub>2</sub>がHであり、Aが-C(=O)であるときには、R<sub>3</sub>は、H、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシアミノであり；そのそれぞれは、置換されていないか、置換の可能性に応じて1～5置換されている）。

#### 【請求項2】

遊離した形態である、請求項1に記載の一般式（I）の化合物。

#### 【請求項3】

Aが-C(=Z)-である、請求項1または2に記載の一般式（I）の化合物。

#### 【請求項4】

4'位に(S)立体配置を有する、請求項1または2に記載の一般式（I）の化合物。

#### 【請求項5】

活性成分として請求項1に記載の一般式（I）で表わされる少なくとも1種類の化合物と、少なくとも1種類の助剤とを含む殺虫組成物。

#### 【請求項6】

害虫を制御する方法であって、請求項5に記載の組成物をその害虫またはその生息環境に適用する方法（ただし、ヒトに対する適用を除く）。

#### 【請求項7】

植物増殖材料を保護するための請求項6に記載の方法であって、前記植物増殖材料または前記植物増殖材料を植えた場所に対して、請求項5に記載の組成物を適用することによって、前記増殖材料または前記増殖材料を植えた場所を処理する方法。

#### 【請求項8】

少なくとも1種類の助剤を含む請求項5に記載の組成物を調製する方法であって、1つま

たは複数の活性成分を助剤と密に混合する、あるいは1つまたは複数の活性成分を助剤とともに粉碎する方法。

【請求項 9】

害虫を制御するための請求項5に記載の組成物の使用（ただし、ヒトに対する使用を除く）。

【請求項 10】

請求項7に記載の方法によって保護された害虫抵抗性植物増殖材料。

【請求項 11】

4'位に(S)立体配置を有する、請求項3に記載の一般式(Ⅰ)の化合物。

【請求項 12】

Aが、-S-C(=Z)-、-NR<sub>4</sub>-C(=Z)-、-O-SO<sub>2</sub>-または-NR<sub>4</sub>-SO<sub>2</sub>-である、請求項1に記載の化合物。

【請求項 13】

Aが、-C(=Z)-、-O-C(=Z)-または-SO<sub>2</sub>-である、請求項1に記載の化合物。

【請求項 14】

R<sub>2</sub>がHであり、R<sub>3</sub>が1～5置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルである、請求項12または13に記載の化合物。

【請求項 15】

R<sub>2</sub>がHであり、R<sub>3</sub>が1～5置換されたC<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>フェニルである、請求項12または13に記載の化合物。

【請求項 16】

R<sub>2</sub>がHであり、R<sub>3</sub>がヘテロシクリルである、請求項12または13に記載の化合物。

【請求項 17】

R<sub>2</sub>がHであり、R<sub>3</sub>がシクロプロピルである、請求項12または13に記載の化合物。

【請求項 18】

R<sub>2</sub>がHであり、R<sub>3</sub>がC<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニルである、請求項12または13に記載の化合物。

【請求項 19】

R<sub>2</sub>がHであり、R<sub>3</sub>がC<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニルである、請求項12または13に記載の化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

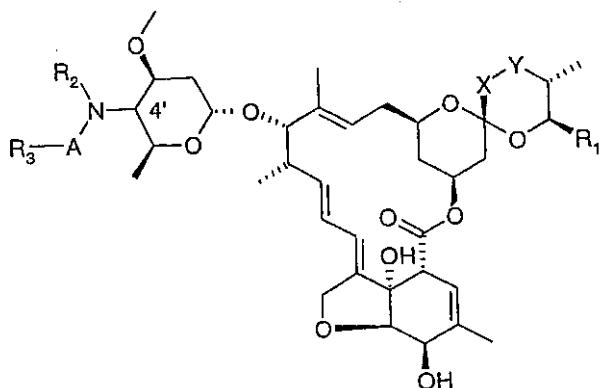
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

本発明により、(1)一般式(Ⅰ)の化合物：

【化1】



(ただし、Aは、-C(=Z)-、-O-C(=Z)-、-S-C(=Z)-、-NR<sub>4</sub>-C(=Z)-、-SO<sub>2</sub>-、-O-SO<sub>2</sub>-、-NR<sub>4</sub>-SO<sub>2</sub>-、結合のいずれかであり；

X-Yは、-CH=CH-または-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-であり；

Zは、OまたはSであり；

R<sub>1</sub>は、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニルのいずれかであり；

R<sub>2</sub>とR<sub>3</sub>は、

(a) 互いに独立に、H、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシイミノの中から選択され；そのときC<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシは、置換されていなくてもよいし、置換の可能性に応じて1～5置換されているてもよい；あるいは

(b) 合わさって、3～7員のアルキレン架橋またはアルケニレン架橋となり、その架橋は置換されていないか、1～3置換されており；場合によっては、3～7員のアルキレン架橋またはアルケニレン架橋のメチレン基の1つが、O、NR<sub>4</sub>、S、S(=O)、SO<sub>2</sub>のいずれかによつて置換されている；あるいは

(c) Aが結合である場合、合わさって=N<sup>+</sup>=N<sup>-</sup>であり；

R<sub>4</sub>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルキル、ヒドロキシ-C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルキル、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル、フェニル、ベンジル、-C(=O)R<sub>5</sub>、-CH<sub>2</sub>-C(=O)-R<sub>5</sub>のいずれかであり；

R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>、R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>に関して定義したアルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、シクロアルキル、シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、アルコキシの置換基の選択は、OH；=O；ハロゲン；C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキル；-N<sub>3</sub>；CN；SCN；NO<sub>2</sub>；置換されていないメチル基、=O、OH、=S、SHのうちの任意の1～3個で置換されているC<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキル；ノルボルニレニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ（ヒドロキシ、-N<sub>3</sub>、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である）の中から選択した置換基で置換されていてもよい）；ハロ-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルコキシ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル-スルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルフィニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルフィニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルスルホニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルキルスルホニル；C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルスルホニル；C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルホニル；C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルケニル；C<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルキニル；-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>（ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独

立である) ; -C(=O)R<sub>5</sub> ; -O-C(=O)R<sub>6</sub> ; -NHC(=O)R<sub>5</sub> ; -N(CH<sub>3</sub>)C(=O)R<sub>5</sub> ; -S-C(=S)R<sub>6</sub> ; -P(=O)(O C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル)<sub>2</sub> ; -S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub> ; -NH-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub> ; -OC(=O)-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub> ; S i(R<sub>8</sub>)<sub>3</sub> ; アリール ; ベンジル ; ヘテロシクリル ; アリールオキシ ; ベンジルオキシ ; ヘテロシクリルオキシ ; アリールチオ ; ベンジルチオ ; ヘテロシクリルチオからなるグループの中から行ない ; これらの中のアリール、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシ、アリールチオ、ベンジルチオ、ヘテロシクリルチオは、置換されていないか、環上で置換の可能性に応じて置換基によって1~5置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>3</sub> ~ C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキルチオ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、ジメチルアミノ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルキニル、フェノキシ、フェニル-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、メチレンジオキシ、-C(=O)R<sub>5</sub>、-O-C(=O)R<sub>6</sub>、-NH-C(=O)R<sub>6</sub>、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>(ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である)、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキルスルフィニル、C<sub>3</sub> ~ C<sub>8</sub>シクロアルキルスルフィニル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>ハロアルキルスルフィニル、C<sub>3</sub> ~ C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルフィニル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキルスルホニル、C<sub>3</sub> ~ C<sub>8</sub>シクロアルキルスルホニル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>ハロアルキルスルホニル、C<sub>3</sub> ~ C<sub>8</sub>ハロシクロアルキルスルホニルからなるグループの中から行ない ;

R<sub>5</sub>は、H、OH、SH、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>(ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である)、C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub>アルキル、C<sub>2</sub> ~ C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>8</sub>ヒドロキシアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ、フェノキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルケニルオキシ、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルキニルオキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>シクロアルコキシ、NH-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル-C(=O)R<sub>7</sub>、-N(C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル)-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル-C(=O)-R<sub>7</sub>、-O-C<sub>1</sub> ~ C<sub>2</sub>アルキル-C(=O)R<sub>7</sub>、-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>、アリール、ベンジル、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシのいずれかであるか；あるいは環上でハロゲン、ニトロ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>ハロアルコキシによって互いに独立に1~3置換されているアリール、ベンジル、ヘテロシクリル、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリルオキシのいずれかであり；

R<sub>6</sub>は、H、C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ヒドロキシアルキル、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルケニル、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルキニル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>(ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である)、-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル-C(=O)R<sub>8</sub>、-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル-S(=O)<sub>2</sub>R<sub>9</sub>、アリール、ベンジル、ヘテロシクリルのいずれかであるか；あるいは環上の置換の可能性に応じて置換基によって1~3置換されたアリール、ベンジル、ヘテロシクリルのいずれかであり、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキルチオからなるグループの中から行ない；

R<sub>7</sub>は、H、OH、C<sub>1</sub> ~ C<sub>24</sub>アルキル(場合によってはOHまたは-S(=O)<sub>2</sub>-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキルで置換されている)、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ-C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub>アルケニルオキシ、アリール、アリールオキシ、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、-N(R<sub>8</sub>)<sub>2</sub>(ただし2つのR<sub>8</sub>は互いに独立である)のいずれかであり；

R<sub>8</sub>は、H、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル(場合によっては1~5個の置換基で置換されており、その置換基の選択は、ハロゲン、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ、ヒドロキシ、シアノからなるグループの中から行なう)、C<sub>1</sub> ~ C<sub>8</sub>-シクロアルキル、アリール、ベンジル、ヘテロアリール；アリール、ベンジル、ヘテロアリール(これらは、環上の置換の可能性に応じて置換基によって1~3置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub> ~ C<sub>12</sub>ハロアルキルチオからなるグループの中から行なう)のいずれかであり；

R<sub>9</sub>は、H、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル(場合によっては1~5個の置換基で置換されており、その置

換基の選択は、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシ、ヒドロキシ、シアノからなるグループの中から行なう)、アリール、ベンジル、ヘテロアリール；アリール、ベンジル、ヘテロアリール(これらは、環上での置換の可能性に応じて置換基によって1～3置換されており、その場合の置換基の選択は、OH、ハロゲン、CN、NO<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルコキシ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキルチオ、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>ハロアルキルチオからなるグループの中から行なう)のいずれかである)；

あるいは、可能な場合には、そのE/Z異性体、および/またはそのE/Z異性体混合物、および/またはその互変異性体の遊離形態または塩の形態(ただし、この化合物が4'位で(R)立体配置を取り、X-Yが-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-であり、R<sub>1</sub>がs-ブチルまたはイソプロピルであり、R<sub>2</sub>がHであり、Aが結合であるときには、R<sub>3</sub>は、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシイミノであり；そのそれぞれは、置換されていないか、置換の可能性に応じて1～5置換されており；あるいはこの化合物が4'位で(R)立体配置を取り、X-Yが-CH<sub>2</sub>-CH<sub>2</sub>-であり、R<sub>1</sub>がs-ブチルまたはイソプロピルであり、R<sub>2</sub>がHであり、Aが-C(=O)であるときには、R<sub>3</sub>は、H、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>～C<sub>12</sub>アルキニル、C<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルキル、C<sub>5</sub>～C<sub>12</sub>シクロアルケニル、アリール、ヘテロシクリル、2-シアノ-2-C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルコキシイミノであり；そのそれぞれは、置換されていないか、置換の可能性に応じて1～5置換されている)と；一般式(I)の化合物、その異性体、その互変異性体を調製する方法、ならびに一般式(I)の化合物、その異性体、その互変異性体を利用する方法と；一般式(I)の化合物、その異性体、その互変異性体の中から選択した活性化合物を含む殺虫組成物と；一般式(I)の化合物を調製するための中間体と；一般式(I)の化合物の調製法と；この組成物を利用して害虫を制御する方法が提供される。

### 【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0157

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0157】

本発明による作物保護生成物は、植物増殖材料(例えば種子(果実、塊茎、種など)、植物を切断した一部)を害虫から保護するにも適している。植物増殖材料は、植える前に組成物で処理することができる。例えば種子を播く前にドレッシングすることができる。本発明の活性成分は、種に付着させることもできる(コーティング)。その場合、種を液体製剤に浸したり、種に固体製剤をコーティングしたりする。組成物は、植物増殖材料を植えるとき、その場所(例えば種を播いている畝の間)に適用することもできる。本発明は、植物増殖材料のこのような処理方法と、このような処理によって害虫耐性を与えた植物増殖材料にも関する。